事業番号	事務事業	名	子ども通学路安全対策事業				所	管課	名	廷	建設部維持管理 課	所属長名	中村	浩之	
	方向性	1	くらしを守	る					ブルー	-プ名	維持第1係				
	重点施策	2	移動しやす	けく便	利なまちを	なまちをつくる			根拠法令等						
	施策方針	4	安心してを	♭行∙i	通行できる:	行できる安全な環境の整備			事業						
	会計	01	款	07	項	02	目	03	事業1	事業2	経·臨	予	算上の事業	名	
予算科目	一般会詞	H	土木劉	ŧ	道路橋りょ	う費	交通安全対策事	業費	003	53	臨	子ども通学路安全対	策事業(政策	長)	

1 事務事業の概要

①事業期間	②事業内容(事業概要を簡潔に記載。期間限定複数年度は全体の事業計画を記載)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
☑ 単年度繰返し		平成18年1月に児童生徒の登下校時の安全
┃□ 期間限定複数年度	子ともか安全で安心して通字できるように、地域の方々やPTAなどと連携し、子ども目線での交通安全対策を行う。 佐伯地域と主和地域にて昭明の設置を行う。	対策を総合的・積極的に推進するために、「廿日市市子どもの安全対策推進本部」を設置し、 関係機関と連携して安全対策を進めることと
□ 単年度のみ	ALIANDANIE I Z. III PARIO I Z. III I Z.	なった。

2 事務事業の対象・意図・活動・成果指標 主な活動内容 活動指標(活動の規模) 単位 区分 4 年度 5 年度 6 年度 7 年度 8 年 正動指標(活動の規模) 単位 区分 4 年度 5 年度 6 年度 7 年度 8 年 ア 対策工事 箇所 実績 18 26 23 40		k:R2	牛皮~	~R3年度)、(吉和地域:R3年度~R43	‡度)		なった	- 0			
注意活動内容	<u> </u>										
→ 対策工事	2 事務事業の対象・意図・活動・成果指	標									
画学路における交通安全対策施設の整備	主な活動内容		活動	1指標(活動の規模)	単位		4 年度	5 年度	6 年度	7 年度	8 年度
画学路における交通安全対策施設の整 → イ 交通安全啓発看板等配布 18 26 23 40 40 40 40 40 40			マ	 分笨工事	告託	目標	15	15	15	15	15
# 2 型 女 全 発 名 板 寺 配 布				ハ水工学	迫刀	実績	18	26	23		
# 対象(誰、何を対象にしているのか)	通学路における交通安全対策施設の整	\rightarrow	1	 	笛託		40	40	40	40	40
対象(誰、何を対象にしているのか)	備			又	回加	実績	61	44	44		
対象 指標 (対象の規模) 単位 区分 4 年度 5 年度 6 年度 7 年度 8 年 7 年度 8 年 7 年度 8 年 9 月込		\rightarrow	<u> </u>								
→ ア 通学路危険箇所改善要望箇所 箇所 見込						実績					
→ ア 通学路危険箇所改善要望箇所 箇所 見込	対象(誰 何を対象にしているのか)	1	分分	(比煙(対象の担構)	畄位	모스	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度	0 年 F
画学路における危険箇所 → → → → → → → → → →	対象(証、何を対象にしているのが)		刈多			E 23	4 平 及	9 牛皮	0 平反	/ 平反	0 +1:
画学路における危険箇所 → イ		\rightarrow	ア	通学路危険箇所改善要望箇所	箇所			100			
画字路における危険箇所 → 1 東續							03	109	92		
対	通学路における危険箇所	\rightarrow	1								
対象をどのような状態にしたいのか) 成果指標(意図の達成度) 単位 区分 4年度 5年度 6年度 7年度 8年 7年度 8年 1月標 95 90 85 80 75 75 75 75 75 75 75 7											
意図(対象をどのような状態にしたいのか)		\rightarrow	ウ								
→ ア 通学路危険箇所改善要望箇所		ı			1	1 /190					
画学路における危険箇所の改善 本記	意図(対象をどのような状態にしたいのか)		成果	指標(意図の達成度)	単位	区分	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度	8 年原
画学路における危険箇所の改善 1			7	通常收合除签证改善再切签证	告記	目標	95	90	85	80	75
画学路における危険箇所の改善			,	通子路危陕固州以普安主固州	百刀	実績	83	109	92		
大き果(結びつく施策の意図は何か)	通学以における各除策正の改善		1			目標				L	
大きな	迪子時に8317 る心陝固州の以音		-1			実績					
接果(結びつく施策の意図は何か) 施策の成果指標 単位 区分 4 年度 5 年度 6 年度 7 年度 8 年			-								
す内の道路を交通事故に遭わず、安心 → ア 市内の道路を安心して歩行・通行で % 目標 76.2 76.3 76.4 76.5 76.6 実績 66.6 63.7 64.9]				実績					
す内の道路を交通事故に遭わず、安心 → ア 市内の道路を安心して歩行・通行で % 目標 76.2 76.3 76.4 76.5 76.6 実績 66.6 63.7 64.9	4+B / 4+パッ/ 4/なの き回は にい	1	+/- /-/-	0.000000000000000000000000000000000000	14 IT	E A	4 /	- <i>-</i>	0 F #	7 /r ÷	0 /= 1
市内の道路を交通事故に遭わず、安心	指朱(結びつく他束の意図は何か)		他束		単位						
[17]の追悼と大通事以に進行す、文化 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1		\rightarrow	ア		%					/0.5	/6.6
	市内の道路を交通事故に遭わす、安心 して歩行・通行できる。			このこのプロスの引口		美額 日標	00.0	63.7	64.9		

	施策の成果指標			区分	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度	8 年度
	7	市内の道路を安心して歩行・通行で	%	目標	76.2	76.3	76.4	76.5	76.6
7	,	きると思う市民の割合	70	実績	66.6	63.7	64.9		
	,			目標					
7 1	1			実績					

3 事務事業の予算・コスト概要

	年度	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度決算	前年度比	令和7年度(予算)
事業費(A) (円)		8,208,480	4,738,110	6,333,513	6,286,765	-46,748	7,100,000
	国庫支出金					0	
財	県支出金					0	
源内	市債					0	
訳	その他特財					0	
	一般財源	8,208,480	4,738,110	6,333,513	6,286,765	-46,748	7,100,000
業務	務延べ時間 (時間)	176	168	176	176	0	
	人件費(B)(円)	772,000	716,000	768,000	780,000	12,000	0
-	ータルコスト(A+B)	8,980,480	5,454,110	7,101,513	7,066,765	-34,748	7,100,000
主な支出項目		令和	令和6年度(決算) 備考				
消耗品			287,	365 円		反射電柱幕 28枚 外	
子ども通学路安全対策工事			5,999),400 円	市道中道線外2路線転落防止柵設置外工事 外8件		
				円			
				円			

事業番号	事務事業名	子ども通学路安全対策事業	所管課名	建設部維持管理課
------	-------	--------------	------	----------

4 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令 等)はどう変化しているか。開始時期あるいは5年 前と比べてどう変わったのか。	② この事務事業に関するこれまでの改革・改善の取り組み経緯	③ この事務事業に対して、関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が、どの程度寄せられているか。
通学路における安全意識が高まっているとともに、 要望内容も多様化している。	要望のハード整備が困難な箇所には、関係課と連携し、巻付看板やシールの配布等を行っている。	各学校からグリーンベルトや路面標示の設置 など多くの要望が寄せられる。

5 事業評価(令和 6 年度決算の評価)

<u> </u>	P未計画(TM 0 干及次异)	グ肝臓/								
	①政策体系との整合性(この事務事業の目的は市の政策体系に結びついているか。意図することが結果に結びついているか。)									
	□ 見直し余地がある	理由	道路を安心して歩行・通行できると思う市民の割合、改善要望箇所はほぼ横ばい傾向であり、より効果的							
目	☑ 結びついている	説明	対策を検討・実施する必要がある。							
的	②市が関与する妥当性(この事業	②市が関与する妥当性(この事業は市が行わなければならないものか。税金を投入して行うべき事業か。住民や地域民間等に任せることはできないか。)								
妥当性評	□ 見直し余地がある	理由	市が管理する道路付属施設の整備であり、妥当である。							
	☑ 妥当である	説明								
価	③対象・意図の妥当性(事務事	業の現状	や成果から考えて、対象と意図を見直す余地がないか。)							
	□ 見直し余地がある	理由	改善要望筒所を対象に事業を実施しており、適切である。							
	☑ 適切である	説明	以晋安主国所を対象に事業を美施しており、廻切でめる。							
	④成果の向上余地(成果向上)	の余地はな	いか。成果を向上させる有効な手段はないか。何が原因で成果が向上しないのか。)							
	☑ 向上余地がある	理由	多くの改善箇所がある中で、早急な対応が必要なものなど、優先順位を付けて計画的に実施している。							
	□ 目標水準に達している	説明	多くの改善固角がある中で、手忌な対応が必要なものなど、後元順位を刊りて計画的に実施している。 							
有効	⑤廃止・休止の成果への影響	(事務事業	を廃止・休止した場合の影響の有無は。目的を達成するには、この事務事業以外に方法はないか。)							
性	□ 影響がない	理由	廃止・休止の場合、通学路危険箇所の解消は困難である。							
評価	✓ 影響がある	説明	廃止・体止の場合、選手的危候固別の解消は困難でめる。 							
	⑥類似事業との統合や連携による改善余地(類似事業(市の事業に限らない)はないか。類似事業との統合や連携によって成果をより向上させることはできないか。)									
	□ 改善余地がある	理由	既に道路維持管理事業、交通安全対策施設整備事業等との連携により、成果を向上させている。							
	☑ 改善余地がない	説明	成に追跗権持官理事業、又通女主対東施設置補事業等との連携により、成業を向上させている。 							
	⑦事業費の削減余地(成果を下げずに仕様や工法の見直し、住民の協力などで事業費を削減できないか。)									
効	□ 削減余地がある	理由	ソフト対策での対応を提案するとともに、必要最小限の整備を検討・実施している。							
率性	☑ 削減余地がない	説明	プラストが東での対応を提案するCCもに、必要取小阪の金鵬を快削・実施している。 							
評	⑧人件費(延べ業務時間)の削]減余地(瓦	は果を下げずにやり方の見直しや民間委託などでコスト削減できないか。)							
価	□ 削減余地がある	理由	必要最低限の人員により事務を行っており、削減の余地はない。							
	☑ 削減余地がない	説明	必要販心限の人員により事務を11つしおり、削減の未地はない。 							
公平	③受益機会・費用負担の適正化余地(事業内容が「対象」の全体でなく、一部の受益者に偏っていないか。受益者負担は公平・公正となっているか。)									
性	□ 見直し余地がある	理由	 廿日市市通学路安全推進プログラムに基づき、関係機関の連携強化を図り、廿日市市全域の通学路の安							
評価	☑ 公平・公正である	説明	全確保を図っている。							

6 争果評価の総括と予使の方向性							
①上記の評価結果	②全体総括(振り返り・成果・反省点)・評価結果の根	艮拠					
A 目的妥当性 🗹 適切 🗌 見直しの余均	也有り						
B 有効性 □ 適切 ☑ 改善の余地	 ^{有り} 改善要望箇所について対策を実施しており、目的妥≟	当性のある事業である。					
C 効率性 ☑ 適切 □ 改善の余地	有り 今後も必要最小限の整備で最大の効果が得られるよ	今後も必要最小限の整備で最大の効果が得られるよう対策を検討・実施していく。					
D 公平性 🔽 適切 🗌 見直しの余均	 也有り						
③今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	④改革改善案による成果・コストの期待効果						
□ 拡充 ☑ 現状維持	今後の改革改善案						
	情に応じ、効果的な対策を実施していく。	コスト 削減 維持 増加					
向上 向上							